

令和 8 年度北薩地区校内研修担当者等研修会

令和 8 年 8 月 4 日（火）

1 目 的	学校は、校長のリーダーシップの下、カリキュラム、地域との連携、学校の資源等が一体的にマネジメントされ、教職員や学校内外の多様な人材が、それぞれの専門性を生かして能力を発揮する必要がある。本研修では、校内における実践を通じた研修の充実を図るために、校内研修担当者等の学校組織マネジメント力等の資質向上を目指す。
2 実施形態	オンライン（Zoom ミーティング）
3 出席者	(1) 各小・中・義務教育学校の研修担当者等（1人） (2) 各市町教育委員会研修担当指導主事
4 内 容	(1) 開会の挨拶及び趣旨説明 (2) 研修 テーマ：授業や家庭学習等における M E X C B T の効果的な利活用について 講 師：県教育庁総務福利課教育 D X 推進室教育デジタル推進係 今村 圭 指導主事 (3) まとめと指導及び閉会の挨拶 指導課長

5 様 子



オンラインによる各学校での研修の様子



運営の様子（北薩教育事務所の一室から）

6 感想・意見

- 問題を作成するのは時間が掛かりそうだが、これまでに作成された問題を自由に選んで使えるのは大変ありがたい。実際やってみると、単なるドリル的なものではなく、思考力が問われるものなど、応用問題も豊富で使ってみたいと思った。（小学校教諭）
- 子供が学力の実態を試される機会に十分に力が発揮できるように、M E X C B T の活用を図っていきたい。今後、I C T のメリットやデメリットを、個人の判断ではなく、大きな枠組みの中で共通理解を図ることは、現場での活用に役立つと感じた。（小学校教諭）
- 今回の研修を通して、M E X C B T は簡単な操作で質の高い問題を配信できるだけでなく、自動採点や生徒への即時フィードバックが可能で、教師の業務の負担軽減につながることを実感した。また、蓄積したデータを小学校と中学校の引継ぎ資料の作成などに活用できる点も大きなメリットだと感じた。生徒一人一人の理解度に応じた学習を支援できるツールとして、個別最適な学びの実現にもつながると感じた。（中学校教諭）
- M E X C B T の活用と聞いて最初は身構えていたが、詳しく丁寧に教えてくださったので、学習 e ポータルのこともよく分かった。自分自身が勉強不足でまだ利用できていない M E X C B T を、どのように 2 学期以降の授業に生かすことができるかを考えるきっかけとなった。いろいろな問題を空いた時間に試して先生方にも紹介したい。（中学校教諭）